



# 真美中だより

令和6年度  
9月号

令和6年9月13日発行  
発行者 校長 西畑



## めざす生徒像

- ☆基礎・基本を定着させ、自ら学び考えて行動できる生徒（確かな学力）
- ☆勤労と責任を重んじ、礼儀正しく社会参画できる生徒（豊かな心）
- ☆明るく元気でたくましく心身を鍛える生徒（たくましい心身）

## 校訓

学び鍛える人たれ  
明るく優しき人たれ  
耐え忍べる人たれ

## 夏休みで得たものを2学期に発揮し充実した生活を送ろう！

7月21日から始まった44日間の夏休みも終わり、2学期が始まり2週間が過ぎました。朝晩は一時の暑さもやわらぎ、過ごしやすくなりましたが、日中はまだまだ暑いので、熱中症には十分気を付けましょう。

さて、1学期の終業式で生徒たちに、「自分の夢を実現させるために、夏休みの目標をしっかりとって欲しいということ。目指す夢の実現のために、具体的な目標をもつこと。44日間の夏休み中、一日も欠かさず毎日必ずやることを、目標の中心におき、それを続けようとする意識が自分の生活を大きく変えてくれる。」と話しました。ほとんどの生徒たちは、部活動に一生懸命取り組んだり、規則正しい生活で家庭学習に励んだことと思います。また、余暇を利用して、学校で経験できない貴重な体験をした人もたくさんいたと思います。そのような体験こそが、感性を鍛え、豊かな心を育んだのではないのでしょうか。

今年の夏休みは、梅雨明け前からのうだるような厳しい暑さが続きました。その中で、県総合体育大会では、3年生は「中学校生活最後の試合」という気持ちで力を出し切り、思い出に残る大会となったことでしょう。この大会を通じて、これまでに培った練習の方法や試合に臨むモチベーションの持ち方について、後輩である1・2年生が受け継いでくれたように思います。3年生が引退してからは、新チームとして1・2年生が先輩の残してくれた伝統を受け継いで、日々の練習に汗を流しました。

2学期の学校生活の中で、夏休み中に体得した様々な力を十分に発揮して、大きく成長してほしいと願っています。特にこの2学期はコーラスフェスティバルや体育大会をはじめ、多くの学校行事が控えています。それらの行事の練習や準備の一つ一つが、真美ヶ丘中学校の新たな学校文化を創っていきます。これまでの卒業生が残してくれた成果をさらに超えるような文化を創造し、新たな伝統を築き上げることを期待します。

この2学期が充実した学校生活となるよう、全職員一致団結して取り組んで参りますので、これまで同様、保護者の皆様のご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

## 認知症サポーター養成講座！

9月3日（火）、2年生を対象に真美ヶ丘中学校校区の民生・児童委員の方々と広陵町けんこう福祉部介護福祉課の方を講師に、認知症サポーター養成講座を開きました。

まず、民生・児童委員の方より、民生・児童委員の歴史やその役割について、お話を聞きました。続いて介護福祉課の方より、『認知症を知ろう』をテーマにお話を聞きました。認知症とは何なのか？認知症になると起きること、認知症の人と接する時の心がまえなど、多くのことを学ぶことが出来ました。



## 9 月 学 校 行 事 等

## 9月 SEPTEMBER

| SUNDAY                 | MONDAY                  | TUESDAY                                | WEDNESDAY                              | THURSDAY                        | FRIDAY                             | SATURDAY |
|------------------------|-------------------------|----------------------------------------|----------------------------------------|---------------------------------|------------------------------------|----------|
|                        |                         |                                        |                                        |                                 |                                    |          |
| 1<br>                  | 2<br>2学期始業式             | 3<br>全日授業開始<br>給食開始<br>50分5限           | 4                                      | 5<br>3年校内学力診断テスト<br><br>町SC     | 6<br>1・2年英語アセスメント<br><br>心         | 7        |
| 8<br>秋季町民総合<br>体育大会    | 9<br><br>心              | 10<br>ふれあいタイム①<br>45分6限<br>清掃なし        | 11<br>ふれあいタイム②<br>45分5限<br>清掃あり<br>県SC | 12<br>ふれあいタイム③<br>45分6限<br>清掃なし | 13<br>ふれあいタイム④<br>45分5限<br>清掃あり    | 14       |
| 15<br>秋季町民総合<br>体育大会予備 | 16<br>敬老の日<br>          | 17<br>ふれあいタイム⑤<br>45分6限<br>清掃なし<br>十五夜 | 18<br>ふれあいタイム⑥<br>45分5限<br>清掃あり        | 19                              | 20<br>月曜校時<br><br>心                | 21       |
| 22<br>秋分の日             | 23<br>振替休日              | 24<br>交通安全立哨<br><br>県SC                | 25<br>清掃なし                             | 26                              | 27<br>コーラスフェスティバル<br>(PM)<br><br>心 | 28       |
| 29                     | 30<br>交通安全立哨<br><br>町SC |                                        |                                        |                                 |                                    |          |

県SC……北野先生 町SC……松本先生、松村先生 心（心の相談員）……小西先生

## 今月の一言

「今」を大切に生きて生きないと、花は開かない。「今」をいい加減に生きると、次の瞬間もいい加減なものとなり、いい加減な一生しか送れないことになってしまうのかも知れない。

渡辺 和子（わたなべ かずこ、1927年2月11日-2016年12月30日）  
キリスト教カトリック修道女。  
学校法人ノートルダム清心学園理事長。北海道旭川市生まれ。

